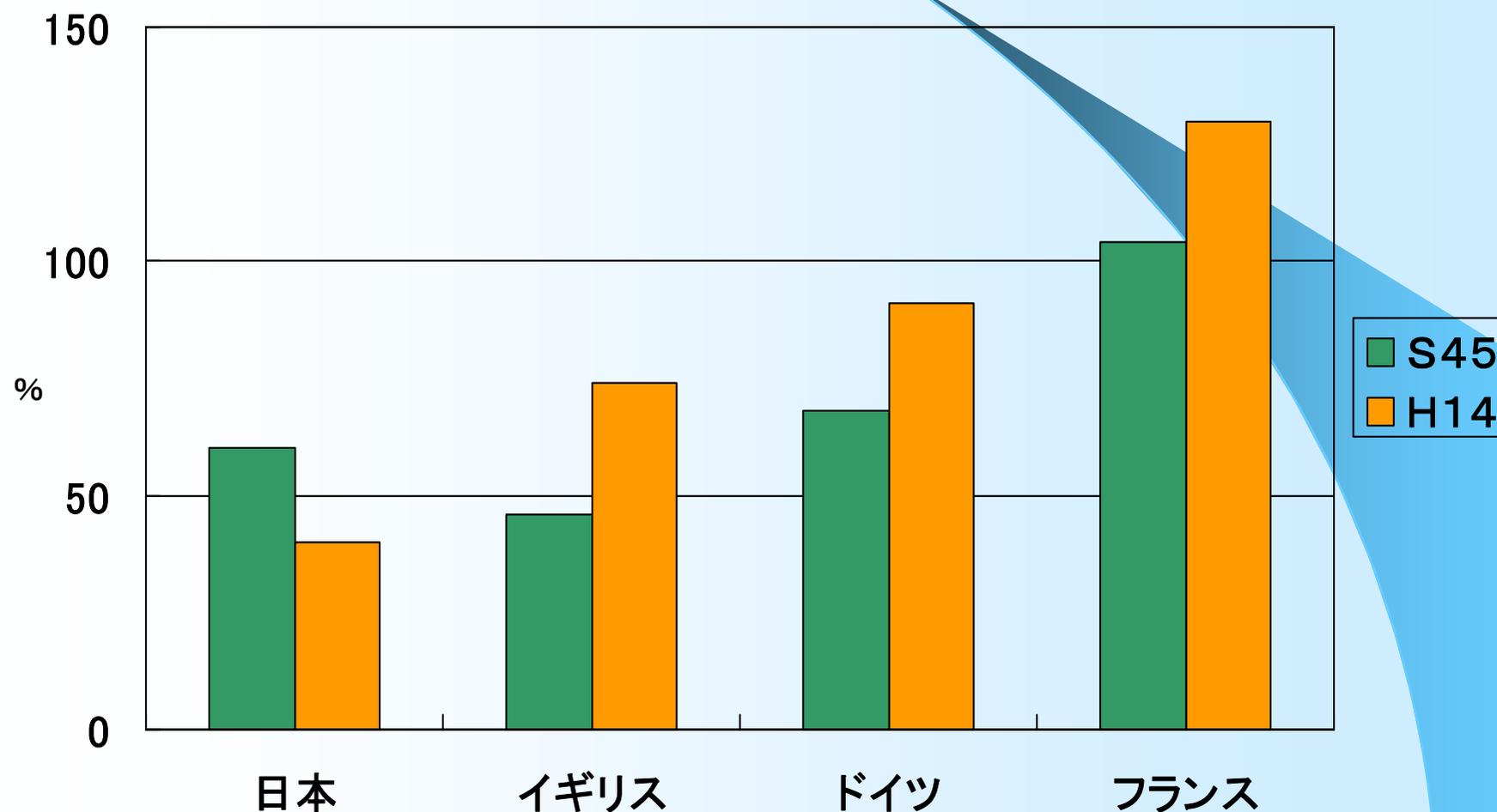


# 輸入食品の安全確保について

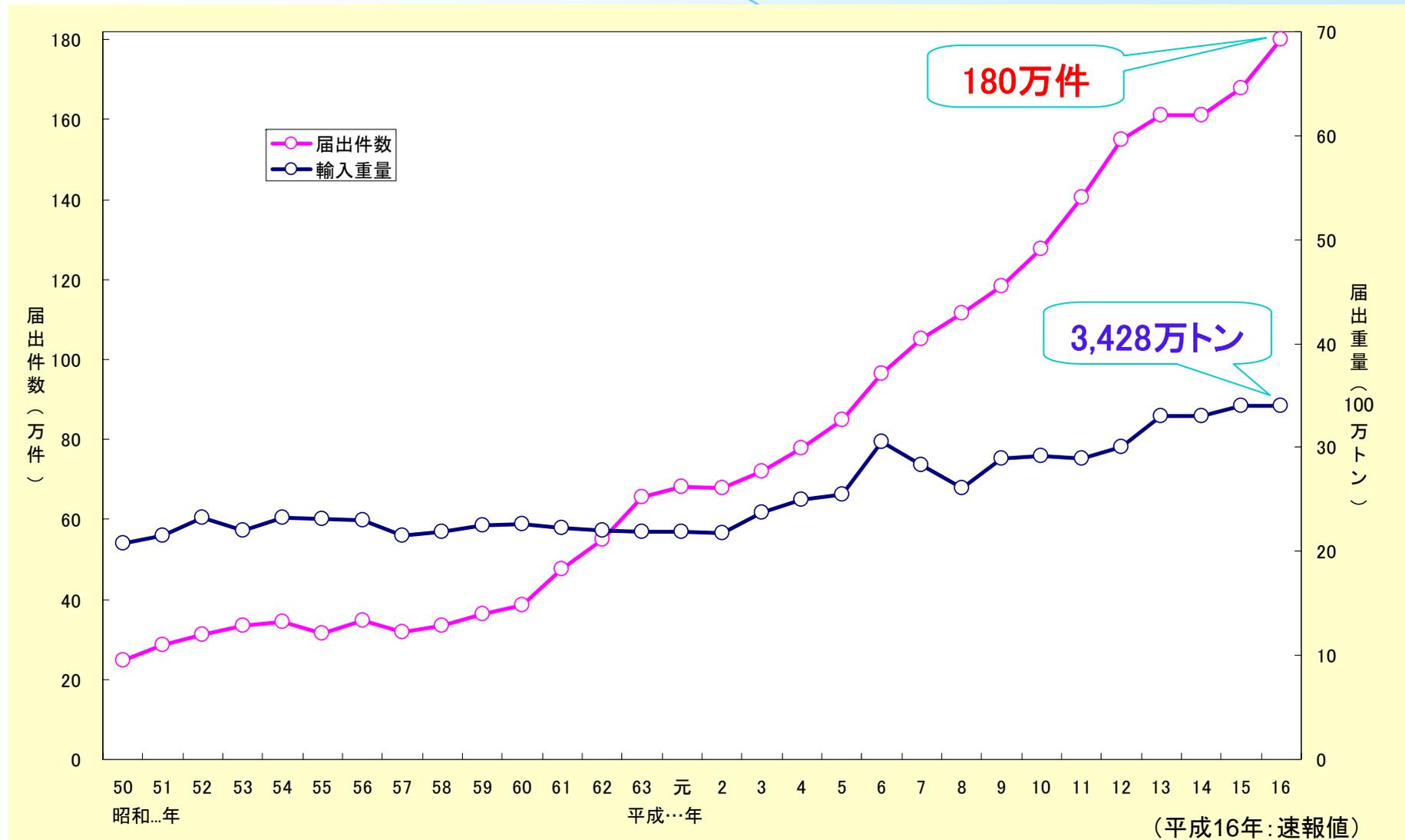
厚生労働省医薬食品局食品安全部

# 主要先進国の総合食料自給率 (カロリーベース)

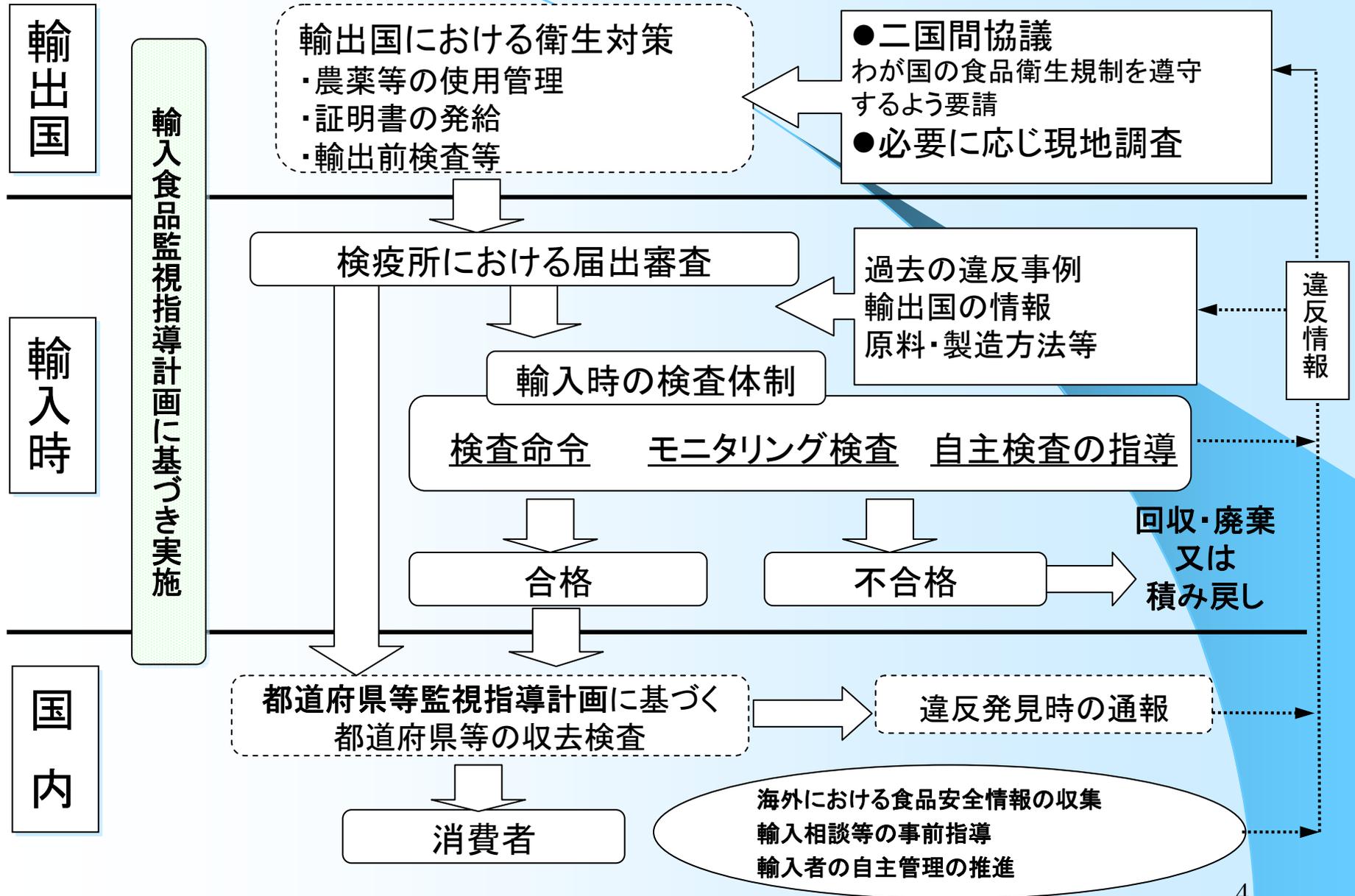


※農林水産省「供給熱量総合食糧自給表」より 2

# 食品等の輸入届出件数・重量推移



# 輸入食品の監視体制等の概要

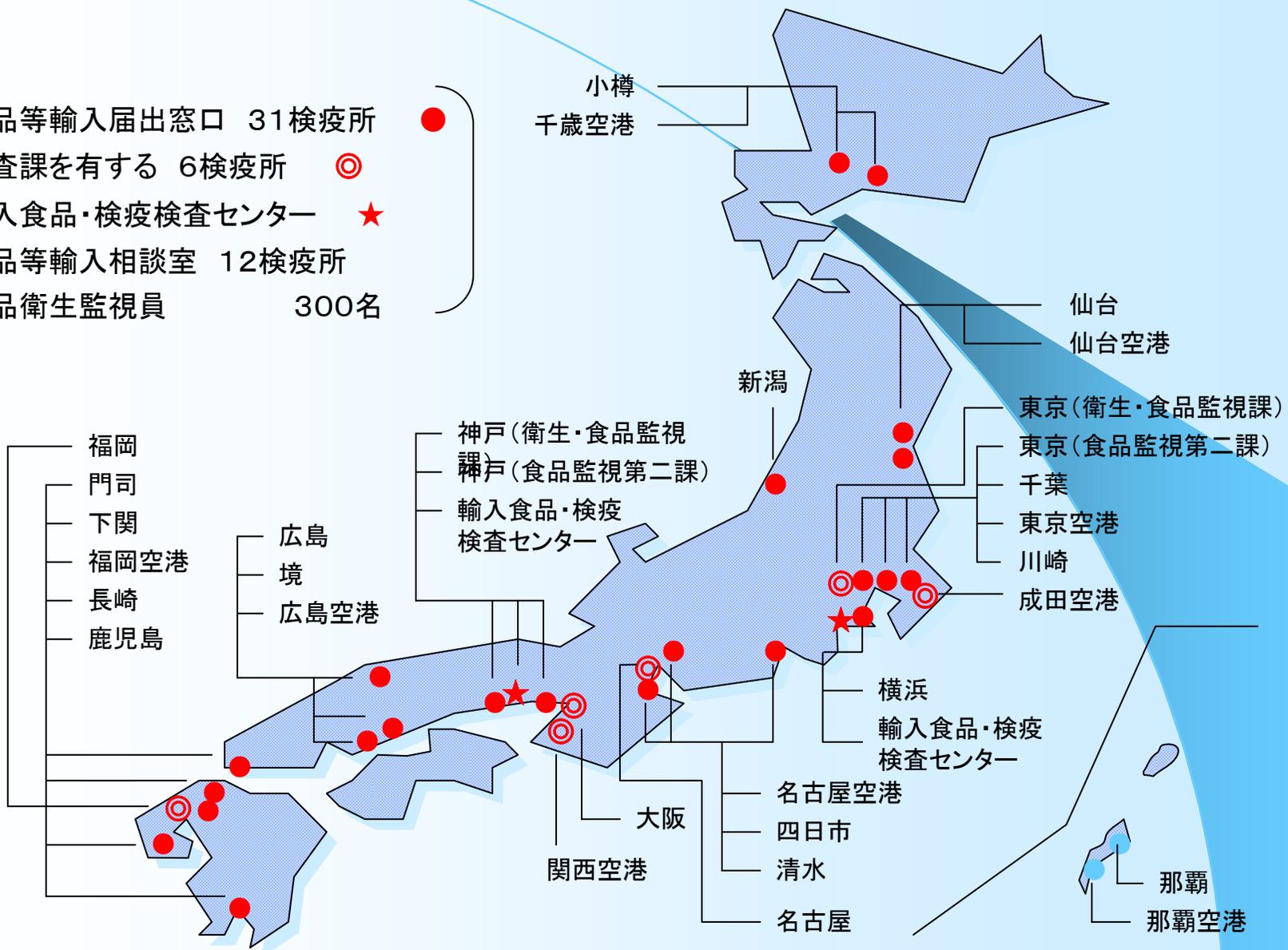


# 安全確保の基本的な考え方

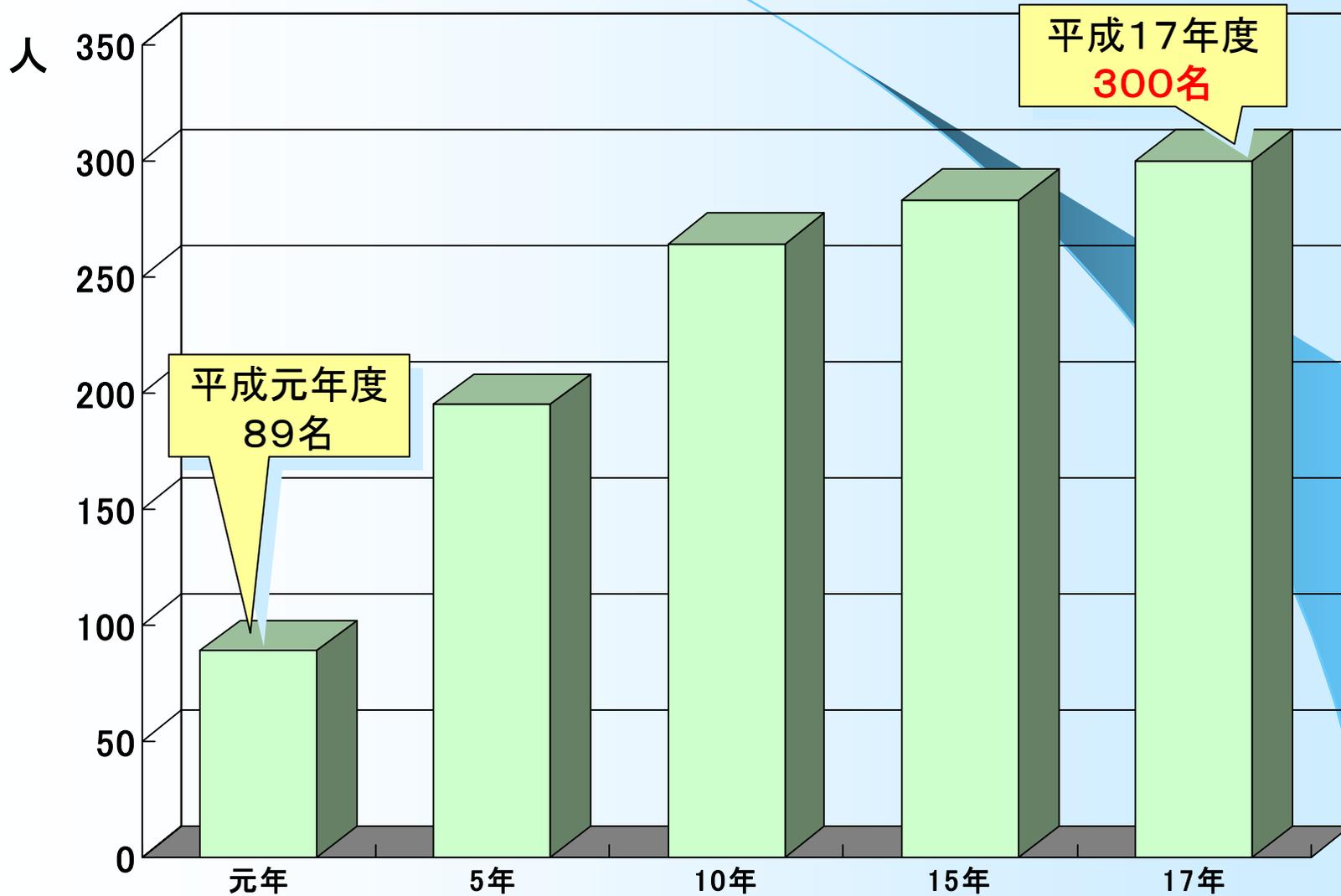
- 国の内外における食品供給行程の各段階において適切な措置を講じることにより行う（食品安全基本法）
- 3段階での適切な対応が必要
  - 輸出国における対策
  - 水際（輸入時）での対策
  - 国内流通時での対策

# 食品等輸入届出窓口配置状況

- 食品等輸入届出窓口 31検査所 ●
- 検査課を有する 6検査所 ◎
- 輸入食品・検疫検査センター ★
- 食品等輸入相談室 12検査所
- 食品衛生監視員 300名



# 検疫所の食品衛生監視員年度推移



# 輸入時に重点的に監視指導を実施すべき項目

- 輸入届出時における法違反の有無のチェック
- 輸入時検査の実施
- 輸入者への指導
- モニタリング検査等で違反が発見された場合は、輸入時の検査を強化

# 輸入時における検査制度

## ● 検査命令

- 食品衛生法の不適格の可能性が高い食品等
- 輸入者が費用負担、試験結果判明まで留置き

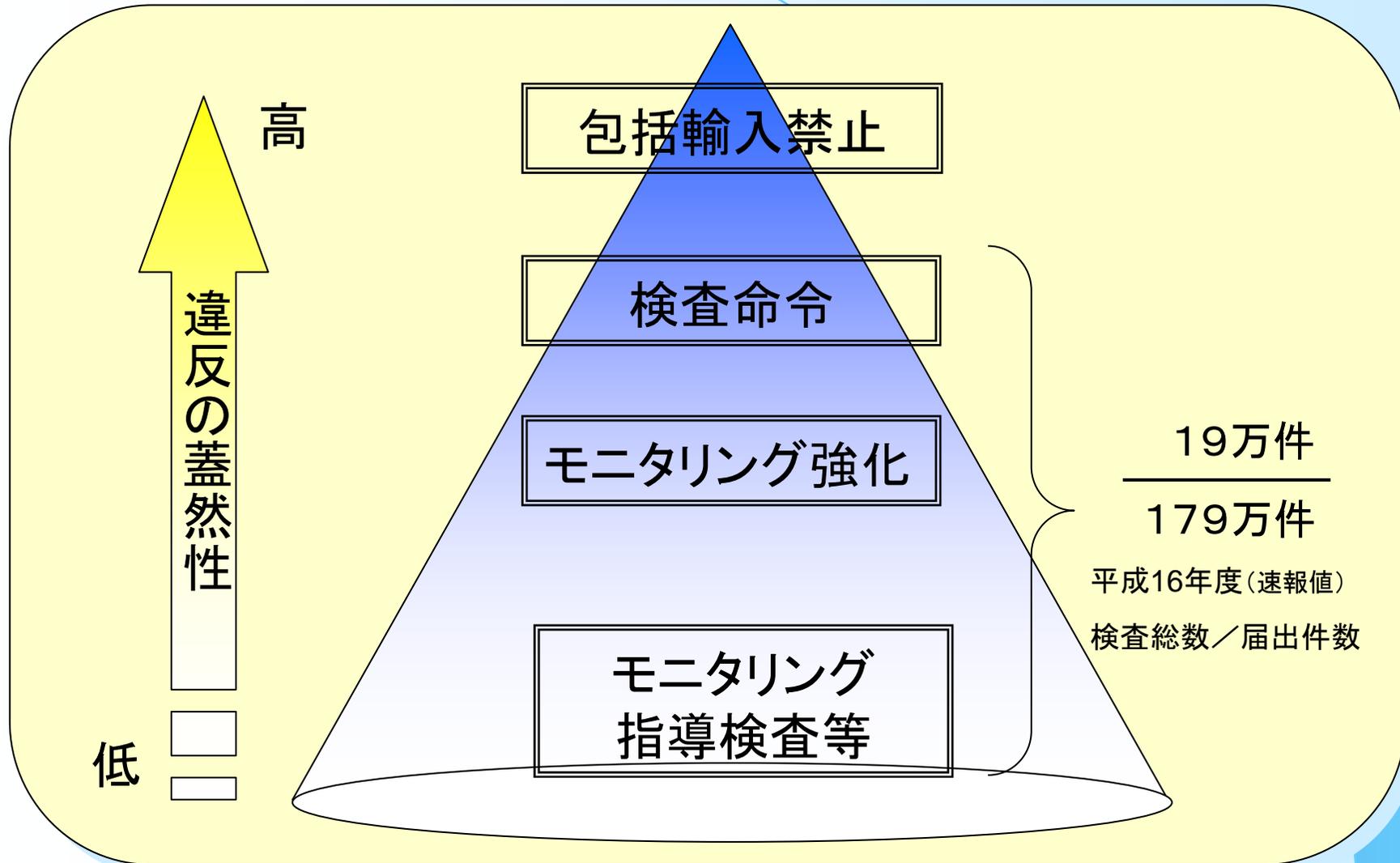
## ● モニタリング検査

- 年間計画に基づく検査  
平成17年度 7万7000件
- 試験結果の判明を待たずに輸入可能

## ● その他の検査

- 自主検査の指導

# 輸入時の検査体制の概要



# モニタリング検査の考え方

- ◆ モニタリング検査に必要な検体数は、Codex(分析サンプリング部会)において、統計学的に一定の信頼度で違反を検出することが可能な検査数が示されている。
  - (例) 95%信頼度 → 違反率0.1% → 2995件
  - 違反率 1% → 299件
  - 違反率 10% → 29件等
- ◆ 先進諸国においては、CODEXで示された考え方を踏まえ、ある食品群について、95%の信頼度で違反率が1%以下であることを確認できる299件の検査数を基本として、検査を実施。
- ◆ 我が国においても、これを基本とし、さらに過去の違反率、輸入件数、重量、違反内容の重要度を勘案し、食品群毎に検査件数を設定。

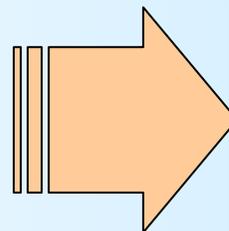
# 厚生労働大臣による検査命令

## 検査命令発動の要件

健康被害の発生

健康被害発生の恐れ

同一の製造者又は加工者からの同一の  
輸入食品(例:挽肉のO-157等)



直ちに  
検査命令

残留農薬  
動物用医薬品

1回目  
の違反

50%モニタリング  
検査にアップ

2回目  
の違反

違反の蓋然性  
が高いと判断  
検査命令

検査命令解除

輸出国の再発防止策の確立等違反食品が  
輸出されることのないことの確認が必要

# 決められた採取 方法で採取 開始



# 検体の受付



温度計



検体受付